

Together we can change the world!

CHANGE
MAKERS

アクションキット

SCARE HUNGER

-眠っている食品で地域の人の子カラに！-

ACTION KIT

国内の貧困/食料問題



資金調達



物資調達



自己行動変革



ボランティア



啓発活動



政策提言

FREE THE
CHILDREN

日本の貧困 + フードドライブ = 空腹と食品を救う！

フードドライブで食品を必要としている人に届けよう！ SCARE HUNGERでは、全国のフードバンクを通じて、家に眠っている食品を、国内の必要としている方へ届けるアクションキャンペーンです。日本では7人に1人の子どもが貧困状態にも関わらず、年間約570万トンのまだ食べられる食品が捨てられています。キャンペーンに参加して、誰もが安定した食事ができる社会のためのチカラとなろう！



日本では...

- ・ひとり親世帯の貧困率は50.8%
- ・子ども全体の7人に1人が貧困状態
- ・国民1人当たり食品ロス量は、毎日約124g（お茶碗1杯分）

目標

124g =



お茶碗1杯分の量の食品を救い
必要としている人に届けよう！



このキットは、アクションを起こすための基本的な4つのステップを踏みながら行動を起こせるようになっています。

仲間と一緒にアクションを起こせる内容ですが、1人でももちろん大丈夫！

私たちフリー・ザ・チルドレンも、1人の少年のアクションから始まりました。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとは

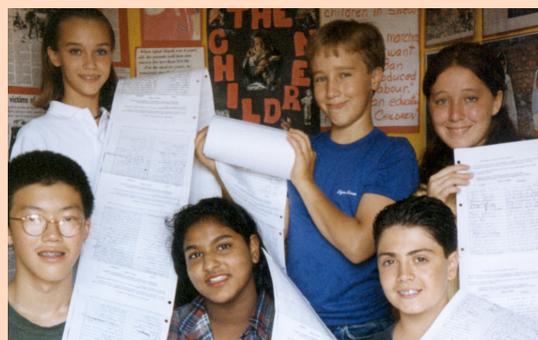
1995年、ひとりの12歳の少年クレイグから始まったフリー・ザ・チルドレン。「子どもになんか何もできないよ」「おとなになってからやれば」と、活動を始めた当初クレイグは周りからそう言われました。

でも、「子どもだって変化を起こせる。子どもだからこそできることがある。」と信じて活動を続けたところ、だんだん仲間が増え、これまでに45か国以上で390万人の子どもや若者が活動に参加し、その結果、開発途上国に1,500校以上の学校を建設しました。

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、この理念に共感し、1999年に活動を開始しました。

「子どもや若者は助けられるだけの存在ではなく、自身が変化を起こす担い手である」という理念のもと、子どもや若者が自分の持つ力を発揮して、より良い世界をめざし行動を起こせるよう環境づくりに取り組んでいます。

写真：クレイグ（上段中央）と一緒に活動を始めたクラスメイト



もくじ



ステップ1 問題やアクションに必要なことを調べよう！

- 03 数字で知る「国内の貧困/食料問題」 / 参考サイト
- 04 ストーリーで知る「「小学1年生の“せかいをかえよう大さくせん”」
- 05 調べて学んだことを整理しよう
- 06 WE Scare Hunger アクションの基本ステップ



ステップ2 目標を決めてアクションの計画を立てよう！

- 07 ゴールを決めよう / 必要なことを整理しよう
- 09 役割分担をしよう / 危機管理を考えよう
- 10 スケジュールを確認しよう



ステップ3 TAKE ACTION! アクションを起こそう！

- 10 活動をやりきるアドバイス/活動する時に守ってほしいこと
- 11 活動中の記録を取ろう



ステップ4 アクションを振り返り、報告・お祝いしよう！

- 12 アクションを振り返り、報告・お祝いをしよう！



ワークシート

- 17 ワークシート4種類



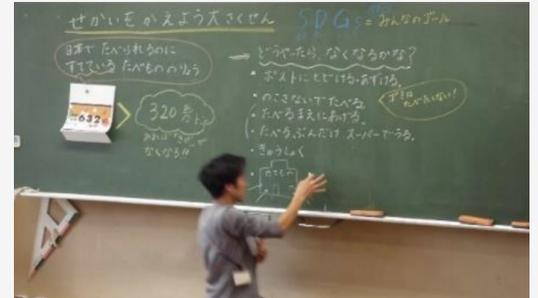
ステップ1 問題やアクションに必要なことを調べよう！

◆ストーリーで知る「小学1年生の“せいかいをかえよう大きくせん”」

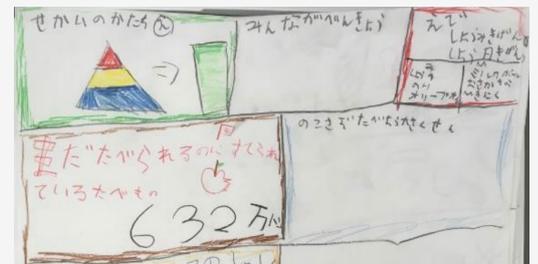
「せいかいをかえよう大きくせん」。

そう名付けられた活動は、私が担任を務めた小学校1年生の1つの学級にて行われました。そのクラスは学年の中で最も給食の完食回数が多いクラスでした。そこで、社会に参加する意識を育むための学級活動の一環で、食に関する問題について話し合うことにしました。まずは、国内外の飢餓と日本の食品ロスについてYouTubeの動画を使って簡単なレクチャーをしました。すると、クラスから「食べられなくて困っている人がいるのにご飯が捨てられているなんておかしい」「もったいない」「あげればいいのに」と素直な意見が飛び出しました。そこで次に、自分たちにできることをグループごとで話し合い、その内容を全体で発表しました。出された意見は大きく分けて以下の4つでした。

- ①お金をあげる（募金活動）
- ②食べ物をあげる（フードドライブ）
- ③ニュースで知らせる（学校新聞作り）
- ④給食を残さず食べる（完食週間の開催）



（写真）食品ロスについての授業の様子



（写真）学校新聞の下書き

事前に申請が必要な募金活動は、残念ながら時間が間に合わず出来ませんでした。 「できるものは全部やろう！」と意気込み、計画を立てました。

中でも一大イベントだったフードドライブ。まず寄付先のフードバンクを探し、どのような食品なら寄付できるのかをクラスで確認しました。賞味期限と消費期限の違いについての学習もしました。また、回収日1週間前に行われた授業参観日に、保護者の方にも学習の報告をし、協力をお願いしました。そして迎えた当日。「先生大変！！」とクラスの子もたちが職員室に押しかけ、「もう箱に入らないよ！」と嬉しそうに顔で口々に叫びました。子どもたちは自主的に役割分担し、食品の仕分けを始めました。

結果、32人学級で22.2kgの食品が集まりました！

その日の夕方、新型コロナウイルス感染拡大防止のための全国一斉休校が決まり、振り返りや新聞づくりをクラスで行うことはできませんでした。それでも「僕たちは“せいかいをかえよう大きくせん”をしたんだ！」と嬉しそうに話すクラスのみんを見、 「小学生でも社会のためにできることがある・変えていくことができる」ということを、担任の私も、子ども達も体験することができました。この経験が、次の挑戦を後押しするものになってくれることを願います。（文責：当時担任 広瀬太智）

【活動概要】

活動：フードドライブ（食品寄付）
 実施日：2020年2月
 実施者：小学校1年生32人、担任教員1名
 成果：食品22.2kgの寄付



（写真）
フードバンクから送られてきた食品受領写真

◆数字で知る「国内の貧困と食料問題」

日本では...

- ・ 国の生活水準・文化水準を下回る“相対的貧困”の割合は15.4%で、これはOECD加盟国の平均よりも高く、人口の6人に1人が相対的貧困に直面しています。(2018年*)
- ・ なかでも、ひとり親世帯の貧困率は高く、50.8%です。(2015年*)
- ・ 現在、日本の子ども全体の13.5%、つまり約7人に1人が貧困状態です。(2018年**)
- ・ まだ食べられる食べ物が捨てられる“食品ロス”は、日本だけで年間570万トフあり、国民1人ひとりが毎日茶碗1杯分(124g)のご飯を捨てていることになります。(2019年***)
- ・ 570万トフのうち、309万トフがお店での規格外品や売れ残りなどによる“事業系食品ロス”、261万トフが家庭での食べ残しなどによる“家庭系食品ロス”です。(2019年***)

* 厚生労働省「2019年 国民生活基礎調査」

** 厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」

*** 農林水産省「食品ロス量(令和元年度推計値)の公表について」



こうした状況に対して、
SDGs（持続可能な開発目標）では...



ゴール1で「世界中の、あらゆる形の貧困を終わらせる」こと、ゴール2で飢餓を撲滅し、全ての人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られること、小売/消費レベルにおいて一人当たりの食料の廃棄を半減させることを掲げている。



コンポイント 調べ学習参考サイト

SDGs

SDGs /国際連合広報センター https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

JAPAN SDGs Action Platform / 外務省 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

SDGs17目標と169ターゲット /UNICEF <https://www.unicef.or.jp/sdgs/target.html>

食品ロス

食品ロス・食品リサイクル /農林水産省 https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/index.html

食品ロスについて知る・学ぶ /消費者庁 https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/education/

食品ロスポータルサイト /環境省 <http://www.env.go.jp/recycle/foodloss/index.html>

国内の貧困

シングルマザー（母子家庭）の貧困率が高い理由とは？/goodo https://goodo.jp/magazine/poverty/single_mother/84/

子どもの貧困対策/内閣府 <https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/index.html>

◆調べ学習から何を学んだかな？

日本は他国に比べてもひとり親家庭の貧困率が高いが、それはなぜだろう？
また、その改善のためには何が必要だろう？

毎日十分にご飯を食べられないと、生活にどんな影響があるだろう？

日本の食品ロスはどこで多く出ているのだろう？また、それはなぜだろう？

食品の寄付により、子どもやその家族、施設にどんな変化が起きるだろう？

SCARE HUNGER アクションの基本ステップ

1. 最寄りのフードバンクを見つける

フードバンクや行政の窓口を探す

地域のフードバンクが見つからなかった時は、フードドライブの受取先を市役所/区役所などに問い合わせみるのも一つの方法です。

参考：フードバンク活動団体一覧

<https://ftcj.org/we-movement/weactioncampaigns/wescarehunger>

2. 食品を集める

集め方を工夫する

家の大掃除で家族と協力、友達と持ち寄る、学校で呼びかけて、など様々！
呼びかける時も、みんなに楽しく参加してもらえるように工夫してみよう。

集められるものを確認する

フードバンクや自治体によって集めているものは異なるので、まずは寄付先に聞いて、詳しく確認しておこう！

集めている食品（世田谷区の場合）

- ・未開封であること（包装や外装が破損していないこと）
- ・賞味期限（要明記。塩や砂糖は除く）まで2か月以上あること
- ・冷凍・冷蔵でないこと

例）お米・小麦粉、インスタント・レトルト食品、パスタやそうめんなどの乾麺、海苔など乾物類、醤油・食用油・砂糖・塩など調味料、缶詰、飲料（お酒は除く）嗜好品（お菓子類、インスタントコーヒー、お茶など）、ベビー食品など

3. 食品を届ける

集まった食品を、フードバンクや窓口へ届ける

集まった食品の重さ・個数は、届ける前に記録しておこう！ 届け方を決めよう
(例：郵送、直接運ぶ、取りに来てもらうなど)

- 🗋️ 家に寄付できる食品がなく、活動に参加したいと思ったとき、寄付するために食品を買うのと、その分のお金を寄付するのは、どちらが良いだろう？



ステップ2 目標を決めてアクションの計画を立てよう

問題について学んだら、アクションのゴールを決めよう！お茶碗1杯分は124g。何杯分の寄付を目指すかは自分次第！食品ロスを防ぎ、みんなが十分な食事を取れるよう挑戦してみよう！（※お茶碗1杯分は重さの例えで、集められる食品はお米だけではないよ！）

アクションのゴール

- ・いつ、どれくらいの期間実施する？ [開始日] _____ [終了日] _____
- ・何人がこの活動に参加する？（メンバーの数） _____人 （提供者の数） _____人
- ・メンバー1人1人のゴールは？
_____ Kg
- ・グループで、
_____ kg（お茶碗 _____ 杯分）を集める。

なぜならば...

なぜ、国内の貧困/食料問題解決のために活動するのか、なぜフードドライブを通じて行うのか、自分自身の理由を記しておこう！



◆食品の集め方のアイデア（工夫すること）を考えよう

どこで・どうやって集める？個人で？グループ内で持ち合う？周囲に広く呼びかける？

興味を持ってもらえるように、こんな装飾をしてみよう！各教室を回って宣伝するときこんな声かけをしよう！など、思いついたアイデアは、どんどん書いておこう。



(アイデア×モ続き)

◆必要なことを整理しよう

アクションを起こす上で、味方になってくれる人/助けになってくれる組織は誰だろう？
友達、先生、家族、地域の政治家、NPO団体、企業など、考えられる人や組織を書き出そう。
その他、するべきことはなんだろう？必要な資材などは何があるだろう？

こと	もの	ひと

**◆役割分担をしよう（グループで活動する場合）**

行うことに対して担当する人（責任を持つ人）を決めておくと、円滑に活動ができるよ。

考えられる役割を書き出して担当者を決めよう。例えば、ポスターやチラシを作る、先生に許可を取る、集まった食品を管理する、フードバンクと連絡を取る、などなど、他にも様々な役割があるよ。

役割	担当する人

◆危機管理を考えよう

アクションを進めていくと、壁に直面することもある。事前に対処策を考えておくと、実際に何か起こった場合もスムーズに解決することができるよ。

例えば、目標の食品量が集まらなかったら、どうする？アクションの期間を延長する？他の方法で足りない分を集める？どんな方法で？「これだ！」という対処策を決めておこう。

考えられる困難	対応策

**◆スケジュールを確認しよう**

ゴール達成に向けて、いつ何を行うのか、計画を立てよう。大切な日付（アクションプランニングをしている今日、目標達成日、学校の行事などに合わせる場合すでに決まっている日程など）を先に書き、達成させるために必要な行動を書き埋めていこう。

日付	やること
例) 7月20日	例) 仲間を集めるために、自分の主張をまとめる



ステップ3 TAKE ACTION! アクションを起こそう!

遂にアクションをおこすとき!

活動中の写真や現状を発信しよう。

SNSで発信する時は、ハッシュタグも忘れずに。

アクションが上手くいかず、モチベーションが下がってしまった時には、調べ学習で感じたことや、目標を立てた時の想いに立ち戻ろう。

～活動をやりきるアドバイス～

- ・楽しさを取り入れよう。
例：ミーティングの最初にアイスブレイクゲームをしてみよう。
- ・活動の成果に途中途中で目を向けて、成果を実感していこう。
- ・お互いに頑張っていること、よかったことを言葉にして伝えよう。
- ・無理なく実施ができていないか、時と場合に応じて計画は見直そう。

&楽しむことを忘れずに!



共通ハッシュタグ

#SCAREHUNGER_Action

#チェンジメーカーアクション

#FTCJ

活動する時に守ってほしいこと

1. 多様性を認め合い、年齢、人種、宗教・信条、民族性、障害、性的指向、外見を基準に差別や相手を傷つけるような言動・暴力はせず、それぞれの個性を尊重する。もし意図せず相手を傷つけてしまったら、立場に関係なく気持ちを込めて謝罪をする。
2. 熱中症や感染症対策、交通機関のルール確認、避難経路の確認など、健康や安全に配慮する。
メンバーの顔写真や名前などの個人情報を本人の許可なく無断でSNSに載せない。
3. 活動を通じて知り合ったおとなや子どもと、活動と無関係な理由で頻繁に電話やメールをしない。
困ったらすぐに先生やおとなに相談する。
※FTCJ相談窓口もあるので連絡してね。soudan@ftcj.org
4. 子どもとおとなは密室で2人きりにならない。
やむを得ない場合は窓やドアを開けて話し合いをしよう。
5. お金の貸し借りはしない。
活動にお金が必要な場合は、どのように集め・管理するかしっかりと話し合っ決めてよう。

※子どもの権利条約に従い、「子ども」とは18歳未満と定義しています。

18歳未満の子どもは、権利を持つ主体と位置付けられ、おとなと同様ひとりの人間として尊重し子どもの権利を保障するとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要と考えています。



◆活動中の記録を取ろう

次の活動につなげるためにも活動中に感じたことや成果は記録をしよう。
振り返り/ポートフォリオ用ワークシートもあらかじめ見ておこう！



ワンポイント

記録することをおさえておこう！

成果の記録

- ・ アクションを実施した期間（日数）
- ・ 設定した数値目標に対する結果（協力者数や成果の数値）

過程の記録

- ・ 成果を出すために、どのような行動を起ころしたか。（簡単だったこと、難しかったこと）
- ・ 一番楽しかったこと、印象に残ったことはどんなことか。
- ・ 地域の人たちは活動に参加してくれたか。
- ・ 次回行うとしたら、改善したいことはなにか。
- ・ このアクションでどんな影響を与えることが出来たと思うか。

写真/映像 の記録

- 写真や動画を撮れる場合は、今後の活動や広報・報告に使えるよう、以下を記録しよう。
- ・ 活動中の様子（ミーティングや本番）
 - ・ 活動場所の様子、準備したもの、成果物
 - ・ 活動が掲載されたメディア（新聞記事など）

活動中に気づいたことを記録しておこう



ステップ4 アクションを振り返り、報告・お祝いしよう！

アクションの実施おめでとー！

アクションを起したら、次に繋げるためのこの重要なステップに取り掛かろう！

◆アクションを振り返ろう！ ワークシート

個人で・グループで、活動中に記録したメモを元に活動を振り返り、経験だけで終わらせず、“学び”にしよう。振り返りのワークシートを活用して、ポートフォリオとして保存し、今後活かしていこう。

◆アクションを報告しよう！

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに活動報告はしましたか？

みんなのアクションが集まれば、そのチカラはより大きくなる！忘れずに報告を送ろう！

-報告フォーム-

<https://ftcj.org/we-movement/westory>



フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに活動報告すると何があるの？

1. 毎年3月に開催しているイベント

Change Makers Fesに無料招待（25才以下）

国内外の社会課題に対してアクションを起した子ども・若者を無料招待し、その活動を祝い、発展に繋げるライブイベントChange Makers Fes（チェンジメーカー・フェス）を3月に開催しています！子どもや若者世代が主役となって誰一人取り残されない持続可能な社会をつくるムーブメントに、あなたも参加しませんか？

<https://ftcj.org/changemakersfes>



2. 毎年春に発刊される

「ソーシャルアクションレポート」への掲載

毎年、3月1日から翌年2月末までのアクションの報告をまとめたレポートを発行しています。

集まった報告から、寄付金額やボランティア時間の合計など、インパクトも発表しています。一緒に子ども若者のソーシャルアクションを日本で大きくしていきましょう！



3. 希望者には、活動証明書を発行（メールでデータでのお渡し）

活動証明書の発行が必要な場合は、活動報告フォーム内で申請を受け付けています。（報告には活動中の写真の提出必須。）

[活動証明書希望入力欄]

教職員の方がクラス分を一括で申請の場合：

発行を希望する全員の名前のみ必要です →まとめて発行

その他グループや個人で活動して申請の場合：

発行を希望するメンバー全員の

名前・生年月日・メールアドレスが必要です →個人へ発行

◆アクションをお祝いしよう！

アクションの成功をお祝い・そして周囲に共有して、頑張った自分を称えよう！

- ・活動をまとめたポスターを作成して、掲示する
- ・活動中の写真や動画記録を作って学校のウェブサイトでも発信する
- ・活動を報告スピーチを全校集会やホームルームで行う
- ・活動をお祝いする賞状（活動終了証）を送る
- ・アクションをお祝いするイベント（報告会）を開く
- ・Change Makers Fesに参加する！

◆アクションを続けていこう！

SDGsを達成するためには、一人一人が継続してアクションを続けることがとても重要です。この成功体験を活かして、これからも活動を続けていこう！



ワークシート

切り離して使えるワークシートを用意しました！
 必要な場合は、コピーをして繰り返し考えるのに使おう！

ワークシート①「アクションを振り返ろう！」

SCARE HUNGER ACTION KIT ワークシート
 アクションを振り返ろう！
振り返り用ポスター付ワークシート

記入日： _____
 名前： _____

取り組んだ社会問題 _____
-目標者もSDGsゴール-

-なぜこの社会問題に取り組んだのか-

実施したアクションの内容 _____
-なぜこのアクションなのか-

実施期間： _____ 数値的成果： _____
●実施の責任： _____ ●物の責任： _____

協力者： _____ 円 _____ 個 _____
●ボランティア数： _____ ●イベントを考案した人数： _____

支援先： _____ 時間 _____ 人 _____
●お金の数： _____

振り返り

-目標達成に向けて、あなたが/チームが工夫したことで、達成できたこと-

-困難だったことで、どう乗り越えたか、次回行なったら、改善すること-

-このアクションを通じて、学んだこと-

ワークシート②「活動修了証」

CHANGE MAKERS
アクションキット

Congratulations!

SCARE HUNGER ACTION KIT 活動修了証

殿

あなたは、チェンジメーカー・アクションキット“SCARE HUNGER ACTION KIT”を活用し、
 社会問題を学び、解決のためのアクションを考案・実行しました。
 ここに一連の活動を終了したことを記します。
 引き続きソーシャルアクションを続けていきましょう！

活動期間： _____
 取り組んだ社会問題： _____
 超えたアクション： _____

一緒に活動したメンバーからの寄せ書き

Together we can change the World!

ワークシート③「チラシ/ポスター」

白枠のスペースに、仲間の募集や食品の募集などの
 情報を書いて、チラシやポスターとして活用しよう！

CHANGE MAKERS
アクションキット

SCARE HUNGER ACTION

日本の貧困 + フードドライブ
 = 空腹と食品を救う！

写真: 子供たち、食品、活動の様子

FREE THE CHILDREN 特定非営利活動法人フリーザ・チルドレン・ジャパン
〒157-0052 東京都目黒区目黒6-6-5 3F TEL. 03-6321-0948 | Email: info@frcj.org | HP: http://frcj.org

ワークシート④「達成度チェックシート」

食品が集まったら、その分色を塗って、
 目標達成度合いを確認するのに活用しよう！

CHANGE MAKERS
アクションキット

SCARE HUNGER ACTION

※米麹粉1杯分(1杯分124g)を目録に書き印をつけてください。
 食品が集まったら、その分色塗って、目標達成に向けて現状を確認しよう！

1.24kg (10杯分)
 2.48kg (20杯分)
 3.72kg (30杯分)
 4.96kg (40杯分)
 6.20kg (50杯分)
 7.44kg (60杯分)
 8.68kg (70杯分)
 9.92kg (80杯分)
 11.16kg (90杯分)
 12.40kg (100杯分)

もっと色が必要を調度は、コピーして使ってください。

アクションを振り返ろう！

振り返り&ポートフォリオ用シート

記入日： _____

名前： _____

取り組んだ社会問題

	-関係するSDGSゴール-
-なぜこの社会問題に取り組んだのか-	

実施したアクションの内容

	-なぜこのアクションなのか-
--	----------------

実施期間：

数値的成果：

◆お金の寄付：

 円

◆物の寄付：

 個

協力者：

◆ボランティア時間：

 時間

◆インパクトを与えた人数：

 人

支援先：

◆その他：

振り返り

-目標達成に向けて、あなたが/チームが工夫したこと、達成できたこと-

-困難だったこと、どう乗り越えたか、次回行うとしたら、改善すること-

-このアクションを通じて、学んだこと-

切り取り

CHANGE
MAKERS

アクションキット

Congratulations!

SCARE HUNGER ACTION KIT 活動修了証

殿

あなたは、チェンジメーカー・アクションキット"SCARE HUNGER ACTION KIT"を活用し、
社会問題を学び、解決のためのアクションを考え・実行しました。

ここに一連の活動を終了したことを記します。

引き続きソーシャルアクションを起していきましょう！

活動期間： _____

取り組んだ社会問題： _____

起したアクション： _____

一緒に活動したメンバーからの寄せ書き

Together
we
can
change
the world!

CHANGE
MAKERS

アクションキット

SCARE HUNGER ACTION

日本の貧困 + フードドライブ
= 空腹と食品を救う！



この欄に自由に書き足して、仲間や食品を集める時のチラシ/ポスターとして使おう

FREE THE
CHILDREN

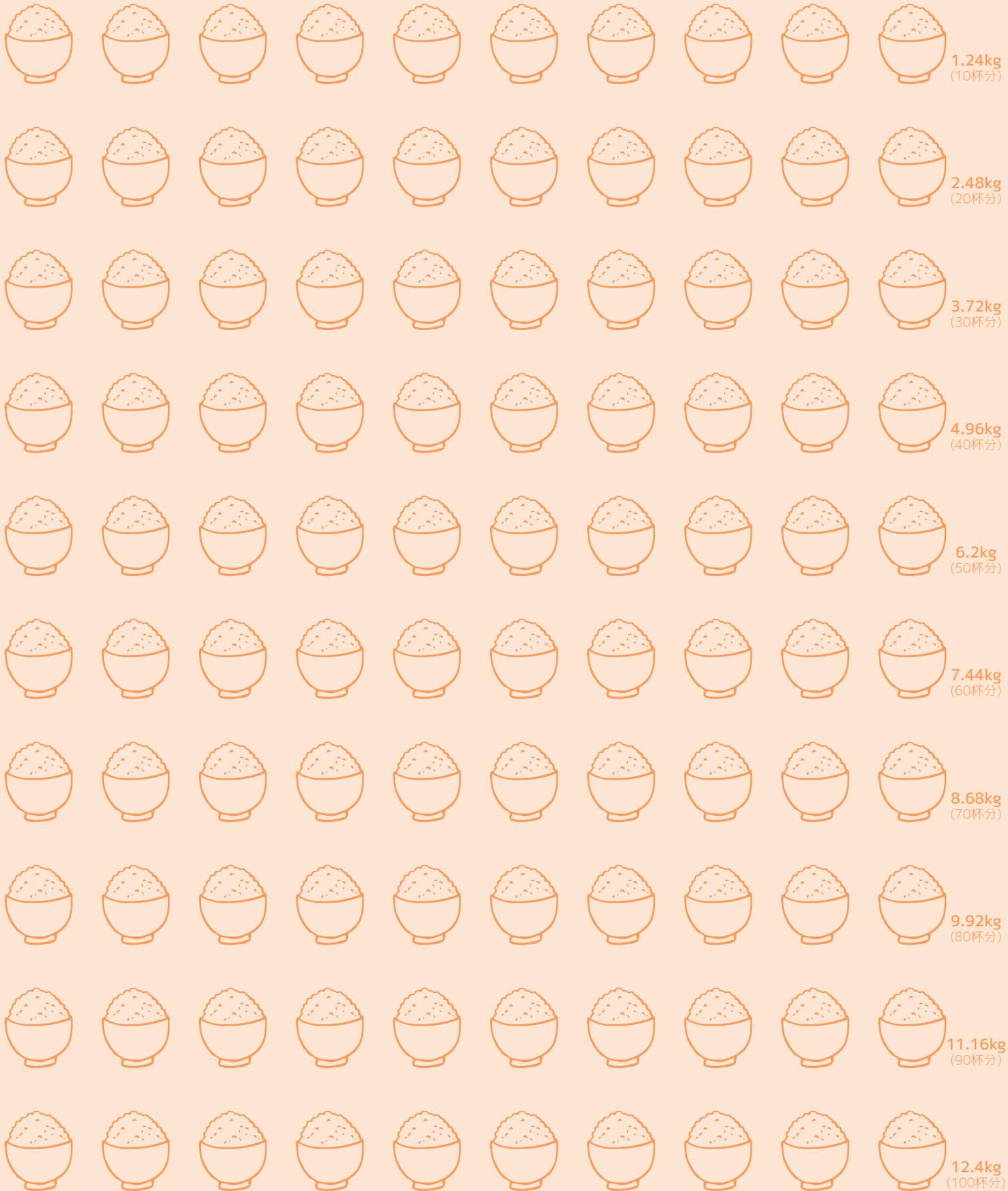
特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F | TEL 03-6321-8948 | Email info@ftcj.org | HP <http://ftcj.org>

SCARE HUNGER ACTION

お茶碗何杯分（1杯分124g）を目標にする？印をつけておこご。

食品が集まったら、その分色塗って、目標達成に向けて現状を確認しよう！



切り取り

FREE THE
CHILDREN

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5 3F
TEL 03-6321-8948 Email info@ftcj.org
HP <http://ftcj.org>

＼アクションキット以外もお探しの方はこちら！／

FTCチェンジメーカー教育プログラム



<https://ftcj.org/we-movement/changemakerseducationprogram>



4つのステップのサービスラーニングで社会問題を学ぶ・実践する・振り返る！
FTCチェンジメーカー教育プログラムは、子ども・若者一人ひとりが社会問題を自分ごととして捉え、問題解決に向けたアクションを起こせるようにフリー・ザ・チルドレンが開発したサービス・ラーニング（※）教育プログラムです。
※サービス・ラーニングとは、社会科教育学専門の筑波大学唐木清志教授によると、「地域社会の課題解決を目指した社会的活動（サービス活動）に子どもを積極的に関与させ、子どもの市民性（シティズンシップ）を発達させることをねらいとした1つの教育方法」を意味します。

新学習指導要領に則り、SDGsの達成、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンが目指す社会である「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、地域社会や国際社会の課題解決のための社会的活動を、4つのステップ+6つのアクションで実践することができるようデザインされています。

出前授業・講師派遣



<https://ftcj.org/we-movement/facilitator>



FTCチェンジメーカー教育プログラムの考えをベースに、出前授業を設計！

- ・「社会問題理解」+「アクションを考える」が基本の形。問題を知るだけでなく、自分とのつながりや地球規模で考え、個々人の特性を生かしたアクションへつなげます。
- ・「権利ベース」での社会問題の理解を深めます。“かわいそう”ではなく、同じ地球市民として国連が定めた「人権」「子どもの権利」から問題解決を探ります。
- ・SDGsの理解、オリパラ教育、世界全体の格差問題から、児童労働、貧困問題、医療の格差、環境破壊、差別、障害者理解など様々なワークショップ（参加型学習）の実施ができます。
- ・100種類近くあるプログラムから対象者・学習目的に合わせて授業内容を提案します。

メンバー登録・メルマガ登録

無料のメンバー登録、月2回のメルマガ配信

<https://ftcj.org/we-movement/we-channel>



-助成-



このアクションキットは、「大東建託グループみらい基金」のご支援によって作成することができました。
誠にありがとうございます。



Together
we
can
change
the world!